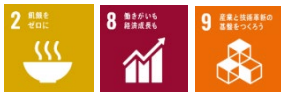


私ども志布志港湾事務所では、以下の取組をはじめとする各種施策を通じてSDGs(持続可能な開発目標)の達成に貢献するとともに、志布志港の港湾整備と港湾振興活動を通じ、地域の一層の発展を図って参ります。



南九州地域の国際物流拠点の整備 (国際物流ターミナル整備事業)

志布志港は、中国、韓国、台湾への外貿定期コンテナ航路が就航しており、神戸港経由でのトランシップにより、アジアをはじめ、北米・豪州等世界各港と結ばれています。コンテナターミナルは、平成21年3月に供用開始され、コンテナ取扱貨物量の増加、就航航路の増便および輸送船舶の大型化に対応するため、国際物流ターミナルの整備を行っています。

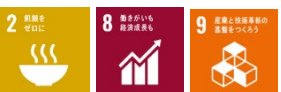
【目標】 2022年度:整備中→2020年代後半:整備完了



国際コンテナターミナル(新若浜地区)



コンテナ荷役状況



南九州地域の畜産を支える港の整備 (ふ頭再編改良事業)

志布志港は、全国屈指の農畜産地帯である南九州地域へ飼料等の供給基地として重要な役割を果たしています。入港船舶の大型化による海上輸送費用の削減と共に、大量一括輸送が可能となり、穀物の安定安価な供給体制の構築を通じた国際競争力の強化や、雇用と所得の維持・創出を図るため、大水深岸壁や水域施設の整備を行っています。

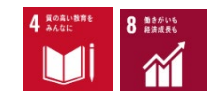
【目標】 2022年度:整備中→2020年代後半:整備完了



配合飼料コンビナート(若浜地区)



穀物荷役状況



みなと見学会 出前講座の実施

志布志港湾事務所では、「みなと」の役割や重要性についてご理解いただくために、港湾施設の利用や工事進捗状況を見学する「みなと見学会」、職員が学校等へ訪問して説明する「出前講座」を開催しています。ご興味のある方は、気兼ねなくお問い合わせ下さい。

【目標】開催回数 2022年度 3回/年 → 2030年度:5回/年



みなと見学会



出前講座